

平成19年10月29日公表

平成19年産水稻の作付面積及び予想収穫量（大分県）

（平成19年10月15日現在）

- 作況指数は98、作付面積は300haの減少 -

【調査結果の概要】

1 大分県における平成19年産水稻の作付面積（子実用）は2万5,900haで前年産に比べ300ha（1%）減少しました。

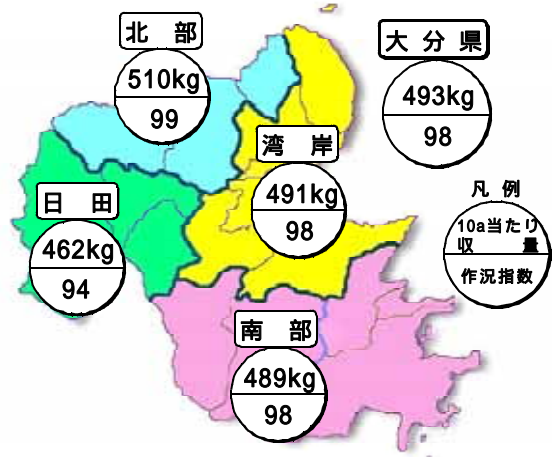
2 10月15日現在における水稻の作柄は、登熟（実入り）は平年並みであるものの、トビイロウンカの被害により10a当たり収量は493kgの作況指数98、予想収穫量12万7,700t（前年産に比べ2万4,200t、23%増加）が見込まれます。

地帯別には、登熟は良好であったものの、穂数が少なく、トビイロウンカによる被害が見られた日田では作況指数94、紋枯病等の発生による登熟の低下とトビイロウンカによる被害が見られた湾岸、南部では98、トビイロウンカの被害が発生したものの、登熟が平年並みであった北部では99となっています。

3 生育は、10月上旬に低気圧や前線の影響で日照時間が不足したものの、出穂期以降は高温・少雨で経過したことから登熟が進んだこと、また、トビイロウンカの発生により刈取りを早めたところもあり、刈取最盛期は平年に比べ4日早く、前年に比べ3日早い10月11日となりました。

県内全域でトビイロウンカや紋枯病の発生が多く見られるため、品質への影響が懸念されます。

水稻の作柄表示地帯別
10a当たり収量及び作況指数



区 分	作柄表示地帯に包括される市町村
北 部	中津市、豊後高田市、宇佐市
湾 岸	大分市、別府市、杵築市、姫島村、国東市、日出町、由布市
南 部	佐伯市、臼杵市、津久見市、竹田市、豊後大野市
日 田	日田市、九重町、玖珠町

予想収穫量調査（10月15日現在）は、収穫を終えた地域では刈取実測により行っていますが、一部収穫を終えていない地域では、もみ数、登熟状況等を実測し、その後の登熟については気象が平年並みに推移するものとして推定する方法により行っています。そのため、今後の気象条件等により作柄は変動することがあります。

この資料は大分農政事務所ホームページ

【<http://www.oita.info.maff.go.jp/nousui toukei / toukeisokuho / sokuho .htm>】でご覧になれます。
この統計調査における調査目的、調査対象などの調査仕様は、【調査の仕様】6Pに掲載しています。
次回は、収穫量調査（確定値）として12月上旬に発表予定です。

【統計表】

1 平成19年産水稻の作柄表示地帯別作付面積及び予想収穫量（10月15日現在）

作柄表示地帯	作付面積	前年産との比較		10a当たり 予想収量	10a当たり 平年収量	作況指数	予想収穫量
		対差	対比				
	ha	ha	%	kg	kg		t
大分県	25 900	300	99	493	503	98	127 700
北部	7 720	60	101	510	517	99	39 400
湾岸	7 660	200	97	491	500	98	37 600
南部	7 490	130	98	489	498	98	36 600
日田	3 000	30	99	462	490	94	13 900

作付面積は、青刈り用を除いた子実用の作付面積です。

表中の「」は、減少したものを示します。

作況指数とは、10a当たり平年収量に対する10a当たり（予想）収量の比率です。

10a当たり平年収量とは、水稻の栽培を開始する以前に、その年の気象の推移や被害の発生状況などを平年並みとみなし、最近の栽培技術の進歩の度合や作付変動等を考慮し、実収量のすう勢をもとに作成したその年に予想される10a当たり収量をいいます。

統計表は、ラウンドにより一致しない場合があります。

2 平成19年産水稻の作柄表示地帯別概況（10月15日現在）

作柄表示 地帯	刈取期				穂数の 多 少	1穂もみ 数の多少	全もみ数 の多少	登 熟 の良否	刈 取 済 面 積 割 合	対 平 年 差	
	始 期	最 盛 期	終 期	最盛期の比較							
				対平年							対前年
	月 日	月 日	月 日	日 日					%		
大分県	9.11	10.11	...	4日早 3日早	やや少ない	やや多い	やや少ない	平年並み	71	13	
北部	9.11	10.14	...	4日早 5日早	やや少ない	やや多い	やや少ない	平年並み	55	11	
湾岸	9.11	10.11	...	5日早 4日早	やや多い	やや少ない	平年並み	平年並み	74	21	
南部	9.9	10.12	...	並み 1日遅	やや少ない	多 い	やや多い	やや不良	73	5	
日田	9.12	9.28	10.14	6日早 2日早	少 ない	多 い	少 ない	良	96	14	

刈取期の「始期」は刈取済みの面積割合が5%、「最盛期」は同50%、「終期」は同95%に達した期日です。

「...」は10月15日現在において、その期日に達していないことを示します。

「穂数の多少」は、1㎡当りに出穂したすべての穂の数が平年と比較して多いか少ないかを表しており、多い、やや多い、平年並み、やや少ない、少ないの5段階で表しています。

「1穂当たりもみ数の多少」は、1穂についているすべてのもみの平均数が平年と比較して多いか少ないかを表しており、多い、やや多い、平年並み、やや少ない、少ないの5段階で表しています。

「全もみ数の多少」とは、1㎡当たりのすべてのもみ数が平年と比較して多いか少ないかを表しており、多い、やや多い、平年並み、やや少ない、少ないの5段階で表しています。

「登熟の良否」とは、登熟（開花、受精から成熟期までのもみの肥大、充実）が平年と比較して良いか悪いかを表しており、良、やや良、平年並み、やや不良、不良の5段階で表しています。

上記の平年比較とは、過年次の作況標本筆結果から作成した1㎡当たり穂数等の各収量構成要素の平年値との比較です。

多少(良否)	少ない(不良)	やや少ない(やや不良)	平年並み	やや多い(やや良)	多い(良)
対平年比	94%以下	95～98%	99～101%	102～105%	106%以上

【関連するデータ】

参考1

平成19年産水稻玄米のふるい目幅別重量分布状況及び10a当たり収量内訳

(10月15日現在概数値)

本調査では、飯用に供し得る玄米の全量を把握することを目的としていることから、収量基準は農産物検査規格の3等以上の品位を有し、かつ、ふるい目幅1.70mm以上に選別された玄米の重量としています。
農家等が販売するために使用している選別ふるい目幅は、地域、品種等により異なるため、刈取り済みの地域について、ふるい目幅の重量割合とふるい目幅別10a当たり収量の概数値を示すと次のとおりです。

単位 { 重量割合：％
平均対差：ポイント

区分	合計	ふるい目幅					
		2.00mm	1.90mm	1.85mm	1.80mm	1.75mm	1.70mm
作柄表示地帯							
大分県	100.0	59.0	27.1	6.4	3.7	2.6	1.2
重量割合		5.4	2.3	1.5	0.5	0.8	0.3
本年値							
平均対差							
北部	100.0	59.8	27.4	5.6	4.1	1.9	1.2
重量割合		7.5	3.0	2.6	0.1	1.5	0.3
本年値							
平均対差							
湾岸	100.0	43.7	36.3	9.7	5.0	3.9	1.4
重量割合		0.5	2.8	0.2	0.6	0.8	0.7
本年値							
平均対差							
南部	100.0	64.3	23.7	5.4	2.9	2.5	1.2
重量割合		6.6	4.2	1.5	0.6	0.4	0.1
本年値							
平均対差							
日田	100.0	75.6	16.1	4.1	1.9	1.6	0.7
重量割合		11.2	7.4	1.8	1.0	0.8	0.2
本年値							
平均対差							

単位：kg

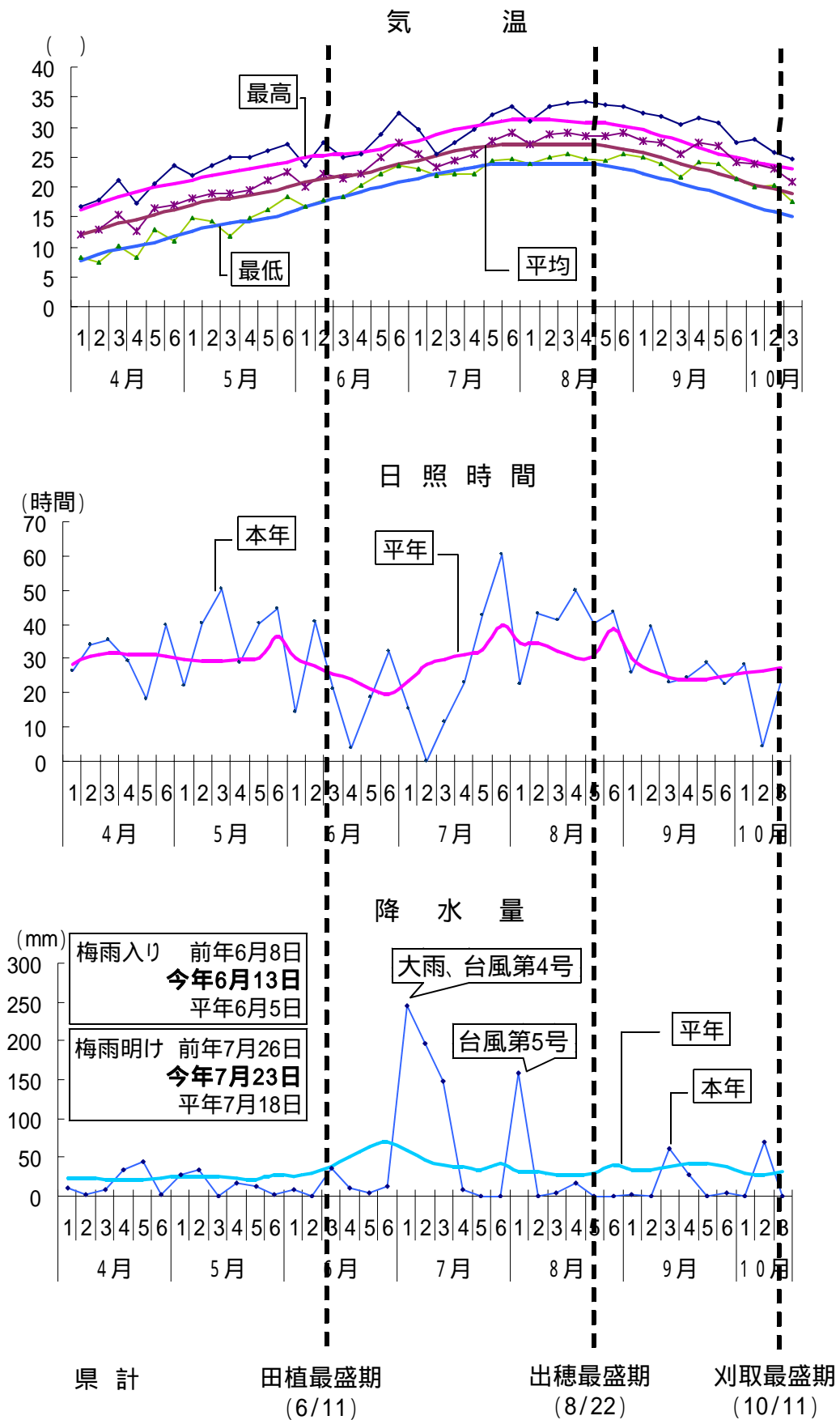
区分	10a当たり 収量 (1.7mm基準)	選別ふるい目幅別10a当たり収量					
		2.00mm	1.90mm	1.85mm	1.80mm	1.75mm	1.70mm
作柄表示地帯							
大分県	493	291	425	456	474	487	493
北部	510	305	445	473	494	504	510
湾岸	491	215	393	440	465	484	491
南部	489	314	430	457	471	483	489
日田	462	349	424	443	451	459	462

注1： 平均対差に用いた平均値は、直近5ヶ年の重量割合の平均値です。

注2： 選別ふるい目幅別10a当たり収量とは、表頭のふるい目幅を使用した際に得られる10a当たり収量のことです。

注3： 台風・高温障害等により未熟粒・被害粒の混入が多く農産物検査規格3等の品位に達しない場合は再選別を行っており、その選別後の値を含んでいます。

平成19年気象グラフ平年比較（大分市）



資料：大分地方気象台「アメダスデータ」

参考3 累年統計表

年産	作付面積 ha	10a当たり 収 量 kg	収穫量 t	作況指数	10a当たり 平年収量 kg	主な要因
30	53 200	380	202 400	114	335	台風22,23号
31	53 300	320	170 600	96	335	台風9,12号
32	53 700	306	164 400	92	335	台風7,10号
33	53 300	373	198 900	112	333	大干ばつ
34	53 700	386	207 400	116	333	
35	54 000	362	195 600	104	349	
36	54 100	333	180 100	94	355	台風18号
37	54 100	384	207 900	108	355	
38	54 100	383	207 200	106	360	
39	53 800	386	207 500	105	367	台風20号
40	53 500	376	201 200	100	375	台風15,23,24号
41	53 300	382	203 600	102	375	台風13,19号
42	53 000	416	220 500	111	375	
43	53 000	404	214 100	105	385	
44	52 800	436	230 200	111	393	
45	47 600	387	184 200	96	404	いもち病
46	42 900	372	159 600	92	406	台風19,23号
47	42 400	460	195 000	113	406	
48	42 700	454	193 900	111	408	
49	45 700	436	199 300	104	418	
50	46 200	446	206 100	105	423	
51	45 900	406	186 400	94	432	台風17号
52	45 200	451	203 900	104	432	
53	41 100	472	194 000	107	440	
54	40 000	481	192 400	108	446	
55	38 700	357	138 200	79	452	異常低温、長雨
56	37 100	480	178 100	106	452	
57	37 000	421	155 800	92	458	日照不足
58	37 000	455	168 400	99	458	高温障害
59	37 300	490	182 800	107	458	
60	37 600	484	182 000	105	462	
61	37 000	482	178 300	103	466	
62	34 200	416	142 300	89	470	風水害、日照不足
63	33 400	468	156 300	100	470	風水害、日照不足
平.元	33 200	487	161 700	104	470	
2	32 700	461	150 700	98	472	水害、台風、高夜温
3	32 000	392	125 400	83	474	台風、天候不順
4	33 000	493	162 700	104	474	
5	33 800	367	124 000	77	474	冷夏長雨、台風
6	34 700	590	204 700	124	474	高温多照、少雨、干害
7	33 300	519	172 800	109	474	高温多照、少雨
8	30 800	492	151 500	104	474	
9	30 500	479	146 100	100	478	
10	28 200	499	140 700	104	478	
11	27 800	387	107 600	80	485	台風、日照不足
12	27 500	516	141 900	105	490	
13	26 800	512	137 200	104	490	
14	26 400	513	135 400	103	496	
15	26 100	485	126 600	97	498	長雨、日照不足
16	26 200	432	113 200	86	501	台風16,18,21,23号、日照不足、秋雨前線停滞
17	26 200	459	120 300	91	503	高温障害、台風14号、ウンカ
18	26 200	395	103 500	79	503	日照不足、台風13号、潮風害、未熟・乳白粒

【調査の仕様】

1 調査の目的

本調査は、作物統計調査のうち作付面積調査及び水稻調査に関する予想収穫量調査として実施し、水稻の作付面積及び作柄状況、予想収穫量を明らかにすることにより、生産対策、技術指導等の農林水産行政推進のための資料とすることを目的としています。

2 調査の対象

大分県

3 調査期間

- (1) 作付面積調査：7月15日現在
- (2) 予想収穫量調査：10月15日現在

4 調査方法

(1) 作付面積調査

調査は、標本単位区に対するセンター職員及び統計調査員による実測調査並びにセンター職員による巡回・見積りにより行いました。

(2) 予想収穫量調査

調査は、作況標本筆、基準筆及び被害調査筆に対するセンター職員による実測調査及び巡回・見積りにより行いました。

5 調査客体数

(1) 作付面積調査

標本単位区：840単位区 巡回・見積もり：18市町村

(2) 予想収穫量調査

作況標本筆：185筆 作況基準筆：18筆 巡回・見積もり：18市町村

【統計表の見方】

統計数値については、下記の方法により四捨五入しているため、合計と内訳が一致しないことがあります。

原 数	7けた以上 (100万)	6けた (10万)	5けた (万)	4けた (1,000)	3けた以下 (100)	
四捨五入するけた数 (下から)	3けた	2けた		1けた	四捨五入しない	
例	四捨五入する前	1 234 567	123 456	12 345	1 234	123
	四捨五入した数値	1 235 000	123 500	12 300	1 230	123

【関連リンク】

○大分農政事務所ホームページ>農林水産統計

http://www.oita.info.maff.go.jp/nousuitoukei/tokei_index.htm

○九州農政局ホームページ>農林水産情報>農林水産統計

http://www.kyushu.maff.go.jp/toukei/ht_all.html

○農林水産省ホームページ>農林水産施策について(統計)

<http://www.maff.go.jp/j/tokei/index.html>

○米に関する累年データは農林水産省ホームページ>農林水産施策について(統計)>農林水産統計情報総合データベース からご利用いただけます。

<http://www.tdb.maff.go.jp/toukei/toukei>

問い合わせ先

本統計調査結果について

連絡先：九州農政局大分農政事務所 統計部 生産流通消費統計課 生産統計係

TEL 097-532-6178 FAX 097-538-1820

農林水産統計全般について

連絡先：九州農政局大分農政事務所 統計部 統計企画課 企画・分析係

TEL 097-532-6177 FAX 097-538-1820